



谷口 和弥 議員
(拓政会)



連日のように全国各地で児童虐待事件の報道がされている。家庭の中で、力の強い者から弱い者へと暴力が加えられる現状を見過ごすことはできない。

幕別町では「幕別町子ども・子育て支援事業計画」（平成27～31年度）において、「児童虐待防止対策の充実」を掲げ、虐待防止に取り組んでいる。については以下の点を伺う。

- (1) 虐待防止に向けた取組状況は。
- (2) 町内の「児童虐待件数」、「児童虐待相談」の「経路別相談対応件数」、「内容別件数」、「主たる虐待者別件数」、「年齢構成別件数」、「処理種別内訳」は。
- (3) 町民に向けて「児童虐待対応マニュアル」を作成する考えは。

町長 (1) 本年度の新たな普及啓発事業の取組として、図書館での子どもの権利に関連する絵本や書籍コーナーの設置、常設保育所の保護者への児童虐待に関するパンフレットやシール配布を行った。

問 児童虐待を見過ごすさない町づくりを
答 保護者自身が児童虐待に対する認識をさらに深めることが重要と考えている

平成31年度は、児童相談所等関係機関と連携し、児童虐待の予防・防止、児童虐待を受けた児童の保護、自立支援に努めるとともに、32年度からの「第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画」に向けて、新たな事業の検討に取り組む。

(2) 平成29年度の帯広児童相談所における本町の相談受理件数は35件、このうち虐待と認定された「児童虐待相談」は19件。「経路別相談対応件数」は、警察署からの通告9件、町からの通告3件、家族から、近隣知人から、学校からの通告がそれぞれ1件、その他児童相談所等の機関からの通告4件。「内容別件数」は、心理的虐待13件、身体的虐待6件。「主たる虐待者別件数」は、実父からの虐待9件、実父以外の父から6件、実母から3件、その他の同居親族1件。「年齢構成別件数」は、0～3歳未満4件、3歳～学齢前8件、小学生5件、中学生1件、高校生その他1件。「処理種別内訳」は、児童相談所による面接指導17件、里親

問 中学生の通学用品の経済的負担軽減策の実施を
答 保護者負担が軽減できるよう各学校での取組を促していく

への子供の委託1件、その他1件であった。

(3) 家庭は子供にとって一番安心できる場所であり、保護者は子供を守る一番の存在。保護者自身が児童虐待に対する理解と認識をさらに深めることが大変重要と考えている。児童虐待に関する研修会の開催について検討したい。

問 平成30年3月、文部科学省の通知において、「通学用品等の学用品等の購入について、保護者等の経済的負担が過重なものとならないように」、「教育委員会は、保護者等ができる限り安価で良質な学用品等を購入できるように、所管の学校における取組を促すこと」など、学校および教育委員会の役割を明らかにした。町内中学校5校において、これらでの経済的負担軽減策と今後の

保護者負担 中学校別一覧表 (H30年度)

※平成31年度 予算審査特別委員会資料より (一部抜粋)

1人当たり(円)	補助教材	修学旅行	指定ジャージ	制 服	
				中学1年(男)	中学1年(女)
学校・学年	各学年	中学3年	中学1年	中学1年(男)	中学1年(女)
幕別中学校	9,246	33,811 (67,622)	12,160	38,988～ 41,688	45,468～ 49,248
糠内中学校	10,515	33,960 (67,920)	16,000	23,810～ 49,390	44,240～ 46,670
札内中学校	13,967	36,500 (71,500)	12,300	23,810～ 49,390	44,240～ 46,670
札内東中学校	9,500	34,990 (69,980)	15,660	41,472～ 47,196	47,844～ 51,624
忠類中学校	9,348	34,890 (69,780)	0	23,810～ 49,390	44,240～ 46,670

※修学旅行()内は、修学旅行費支援事業支給前金額

取組を伺う。また、通学用品の選定や見直しの考えを伺う。

教育長 町内中学校で使用されている制服の購入価格の平均は約3万8千円、このうち2校は独自デザインや色を指定、他の3校は標準学生服を採用している。児童生徒の就学が困難な家庭への就学援助のほか、平成29年度から中学生の修学旅行費用の一部補助を行っている。通学用品の選定や見直しは、各学校において総合的な判断の下で決定しており、できる限り保護者負担が軽減できるように、各学校での取組を促していきたい。